

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念は職員、家族、利用者の方にも解かり易い内容ではあるが、具体的な方向性を示したものが無く見直しもされていない現状の為、理念の共有と実践について、全職員での検討を実践する。	職員全体で理念を見直し、施設の方向性に基づいた具体的なケア方法などを示した施設独自の理念マニュアルを作成する。	施設の理念を再度職員全体で周知し、施設のケアやサービスの方向性を見直し、検討後作成を行う。作成後は再度職員での勉強会等を行い、全体の意識改革を行っていく。	3ヶ月
2	33	緊急時の対応についてのマニュアルの見直しや、今後職員が安心して対応を行っていくための、看取りについての学びを深めていく必要性がある。	利用者、家族の思いを汲み、最後まで施設での生活を送れるような体制を整える。	緊急時に各職員が慌てず冷静な対応を行えるよう研修など計画する。特別養護老人ホームと連携し、緊急時対応方法を学ぶ。マニュアルの見直しを行い、適切な対応が行えるように、また直ぐに見る事ができるように、配置等見直す。	6ヶ月
3	13	医療的ケアについての知識や技術が不足しており、個別のスキルアップが必要。	医療的ケアのスキルアップへの取り組みを行う。	特別養護老人ホームの看護師による勉強会や実践への参加。嘱託医からのアドバイス、資料に基づく実践訓練など行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。